

第9号諮問に係る

第4回世田谷区清掃・リサイクル審議会

令和6年7月30日(火)

本日の流れ

第9期世田谷区清掃・リサイクル審議会委員への委嘱

委員自己紹介

第9期審議会 会長・副会長選出

審議

今日のテーマ 『より効果的な普及啓発に向けた取り組み』②

(事務局説明) 約10分

- ・前回の審議振り返り、今日の審議の進め方

(審議) 約90分

- ・前回の審議を踏まえ、引き続きテーマについて審議

第9期世田谷区清掃・リサイクル審議会 委員委嘱

委員自己紹介

第9期審議會

会長・副会長 選出

第9号諮問審議予定

(第8～9期:令和5年10月～令和8年5月(予定))

諮問内容

『資源循環型社会の実現に向け区民・事業者の行動変容を促し、更なるごみ減量・リサイクルを推進する新たな施策について』

第1回 清掃関連施設見学(可燃・不燃・資源・普及啓発)

第2回 清掃・リサイクル行政が抱える現状と課題について

審議テーマ① デジタル技術等を活用した新たなごみ減量施策等について

今日はここ 

(第3～5回(予定)) ・より効果的な普及啓発に向けた取組

・収集業務等、現場作業の効率化に向けた取組 等

審議テーマ② 経済的手法等を用いたごみ減量施策の実現性について

(第6～9回(予定)) ・経済的インセンティブを活用した取組

・有料化導入の可能性・課題 等

第10回(予定) 答申(素案)のまとめ

第11回(予定) 答申(案)のまとめ

本日の審議テーマ

『より効果的な普及啓発に向けた取組』②

前回の審議振り返り

テーマ:『より効果的な普及啓発に向けた取組』①

- ・区が現在行っている普及啓発施策の紹介
- ・データから見る世田谷区
- ・無関心層から主体的に行動する人まで様々

⇒各層に合わせた施策の展開が重要

- ①無関心層にどうしたら関心を持ってもらえるか
- ②関心はあるが行動に繋がっていない層に行動してもらうには
- ③関心があり一部行動している層により積極的に行動してもらうには
- ④主体的に行動している人に行動の継続や拡大をしてもらうには

審議内容イメージ 前回の審議振り返り

行動変容
ステージモデル

維持期

実行期

準備期

関心期

無関心期

高い

関心の
度合い

低い

主体的な行動・活動へ
行動や活動の継続・拡大へ

ごみ減量・リサイクルに関する
興味・関心を持っており、
一部は取り組んでいる層

ごみ減量・リサイクルに関する
興味・関心は持っているが、
行動に繋がっていない層

ごみ減量・リサイクルに関する
興味・関心を持っていない層

④

③

②

①

行政

前回の審議振り返り

テーマ:『より効果的な普及啓発に向けた取組』

いただいたご意見(一部抜粋)

子どもを通した親世代への啓発が効果的では / 有料化は関心を高める手段として効果的
Web上でアクセスしやすい環境があると無関心層にも届きやすいのでは / エコプラザ用賀の更なる活用
多少有料でも痒い所に手が届く制度があると行動しやすい / 若者にはネガティブ表現では届かない
人の行動原理としてお金やポイントなどのインセンティブは有効 / 学生向きの勉強の場・周知の場の確保
日頃目に付く場所を使つての啓発が有効では / 子どもが興味を持つと家庭内へ良い影響がある
ナッジ理論を活用した無関心層へのアプローチ / ポイント付与で店頭のペットボトル回収量が増えた実績あり
審議会に大学生に参加してもらい、学内で広めてもらう / 地域団体として効果的な普及啓発が難しい
GRとしても大学などと連携していきたい / 無関心層は若年層が多いのではないか
町会やGRメンバーが高齢化しておりICT化が進まない / ポスターを募集をして区長賞等を区内様々に掲示
関心の高いであろう高齢層はアナログ、関心が低いと思われる若年層はデジタルというギャップ
ポイ活などのインセンティブは有効 / 郵便局と連携したポスター掲示や古着回収が有効では
楽しく少し得たと感じ、そして学びになる施策 / 子どもたちがやってよかった・いいことしたと思える取り組み
分別を細分化し、もっと資源化を進めるべきでは / ごみ処分には経費が掛かることを積極的にPR
身近な場所にリユース品を持ち込める場所があると有効 / デジタルネイティブである20代をもっと活用
大学内で譲渡システムがあると粗大削減に繋がる / イベントでのチラシ配布は無関心層が受動的に知る機会
区内50%を占める単身層へのアプローチが難しそう / 特に単身・共同住宅・30歳以下をターゲットにした施策
子育て世代は忙しく、情報にリーチする暇がない

前回の審議振り返り

テーマ:『より効果的な普及啓発に向けた取組』

施策の対象者で分類

- 子どもたち ⇒ **将来を担う世代。小さい頃からごみ減量やリサイクルの重要性を知ることが大切**
※参加して楽しかった、いいことをしたと感じられる施策が効果的
- ファミリー層 ⇒ **仕事や子育て等に忙しく情報があっても行動に繋がらない**
※子どもを通じたアプローチ／子どもと一緒に参加できるイベントが効果的
- 若年層・単身世帯 ⇒ **関心度の低い層とみられ、情報周知の重点的ターゲット**
※大学との連携／ナッジ理論の活用などが効果的／デジタルとの親和性が高い
- 高齢層 ⇒ **関心度が高く地域活動の中心的世代。継続的な活動に期待**
※活動の場の確保／団体間の情報共有／一方、世代交代や活動のデジタル化に課題。
- 共同住宅管理人・オーナー ⇒ **居住者への情報周知や排出マナー向上策が必要**
※情報不足から来る排出マナーや不法投棄等の問題。対象人口も多い。

前回の審議振り返り

テーマ:『より効果的な普及啓発に向けた取組』

施策の内容で分類

インセンティブを活用した施策 ⇒ **幅広い層に効果が期待できる**

※ポイント付与やイベント・ゲームとの連携などによる「お得感」を活用し、各層を一つ上の階層へと繋げる

積極的な周知・情報開示 ⇒ **関心度の低い層にまずは情報を知ってもらう**

※ごみ処理経費の公開による関心度アップ、イベントでのチラシ配布による受動的周知、様々な公共空間を活用したポスター掲示、デジタル媒体を活用した啓発活動などにより、積極的に情報周知を行い、まずは関心を持ってもらう、情報を知ってもらう

ごみ減量やリサイクルの参加機会の拡大 ⇒ **関心がある層に行動に繋げてもらう**

※身近な施設での古着回収、アクセスしやすいWeb環境の構築、子どもを通じた家庭内への波及効果などで関心がある層に行動してもらう

地域団体・企業・大学などの活動支援 ⇒ **主体的な取り組み層の維持・拡大**

※情報共有や活動場所・参加機会の提供、区からの情報発信などにより、地域で活動する団体を支援することで、区民・事業者の主体的な活動の維持・拡大を図る

今日の審議の進め方

テーマ：『より効果的な普及啓発に向けた取組』②

- ・前回の議論を踏まえて、議論の深掘り
- ・前回の議論ではまだ出ていない取組み
- ・普及啓発施策における産官学の役割分担(※) など



各層への取組みの実現に向けて、

今後の区(行政)の普及啓発施策の方向性

(審議)

次回(第5回)の審議内容

(予定)

○第3、4回の審議(より効果的な普及啓発に向けた取り組み)まとめ

○収集業務等、現場作業の効率化に向けた取り組みについて